HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学における研究データ管理に関するアンケート実施報告
Author(s)	結城, 憲司
Description	2019/12/12(木) RDM部会企画セッション 発表資料 大学ICT推進協議会(AXIES)2019年度年次大会. 2019/12/12(木)-14(土), 福岡国際会議場, 福岡市 他
Issue Date	2019-12-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/76314
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	conference presentation
File Information	(Supplement)_Questionnaire on Research Data Management at Hokkaido University.pdf, Supplement

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

「北海道大学における研究データ管理」に関するアンケート

令和元年 11 月 11 日

北海道大学附属図書館
北海道大学情報基盤センター

- **研究データと研究データ管理について（概説）**
  - このアンケートにおいて研究データとは、「デジタル資料」「計測データ」「試験データ」「メディアコンテンツ」「プログラム」など、研究の実施や結果として収集・生成された「デジタル情報」をいいます。
  - 「学術機関による研究データ管理」とは、（研究者個人ではなく）大学などが主体となって、研究データを保管・共有・公開する環境を整備し、その利用を促進することをいいます。
  - 学術機関による研究データの管理の主な目的として以下が挙げられます。
    1. オープンサイエンスの推進（研究データを研究者が相互に利活用することにより、研究の効率がアップします)。
    2. 研究公正の推進（論文で公表された研究成果の根拠データを機関として保管することにより、必要の際にデータを開示しやすくなります)。

- **学術機関による研究データ管理を取り巻く現状**
  - 欧米の研究資金配分では、「研究データ管理が整っていること」を申請の要件とする動きが進んでいます。
  - 国際学術誌では、論文に記載された研究データを参照できることを掲載の条件とするケースが増えています。
  - 国内では、「学術機関における研究データの管理・利活用の促進」が科学技術政策として掲げられています（内閣府統合イノベーション戦略(2018 年 6 月)など)。
  - 国内の研究助成機関のいくつかにおいて、研究データ管理計画の提出が義務付けられてるようになっています。この動きは今後、科学研究費補助金を含む多くの研究助成プログラムに広がる可能性があります。
  -

- **北海道大学における研究データ管理**
  - 本学では、「北海道大学における科学者の行動規範」を定めるとともに「国立大学法人北海道大学における研究活動上の不正行為に関する規程」において、研究資料の保存期間を規定し、各研究者に研究データの管理を促しています。

- 附属図書館においては、オープンサイエンス推進のため、これまで論文等の研究成果を公開してきた「北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）」において、研究データの公開について検討を始めています。
- 情報基盤センターにおいては、学際大規模計算機システムのサービスとして、研究データ等を保存可能な「クラウドストレージ（Nextcloud）」の提供を開始しています。同ストレージは、国立情報学研究所が開発中の研究データ管理基盤「GakuNin RDM」との連携を予定しています。

- **アンケート内容、回答結果の取扱いについて**
  - 本アンケートの原案は、大学 ICT 推進協議会(AXIES)研究データマネジメント(RDM)部会(https://axies.jp/)が、国立情報学研究所オープンサイエンス基盤センター(https://rcos.nii.ac.jp/) の協力を得て作成しました。質問中[AXIES]と書かれている項目は、その原案の内容になります。これに、大学独自の調査項目を付加しています（[北大図書館]［北大情報基盤センター］と書かれています。)。
  - アンケート結果の内、AXIES による質問項目の回答は AXIES-RDM 部会と協力し、他研究機関との横断的分析に利用することがあります。

- **回答者属性**

1.［北大図書館］［北大情報基盤センター］
所属（　　）
2.［北大図書館］ 氏名（　　）（任意）
3.［北大図書館］ メールアドレス（　　@　　）（任意）
4. ［AXIES］職位［教授、准教授、助教/助手、研究員（ポスドク、学振 PD 等)、博士後期課程院生、博士前期課程院生、学部生、その他］
5. ［AXIES］ 分野 ［文学、法学、経済学、その他の人文・社会科学、理学、工学、農学、医学･歯学･薬学、その他保健、家政学、教育学、その他］
（※ 総務省統計局「平成３０年科学技術研究調査」の分野分類を利用）

※ 2. 3. については、回答の内容（主に自由記述）について詳しく把握するため、個別に照会させていただく場合がございます。照会にご対応いただける場合は、氏名とメールアドレスをご記入ください。それ以外の目的に使用することはありません。

- アンケート項目

1. [AXIES] 学術機関による研究データ管理について、上で述べたような国内外の動向を知っていましたか？［はい,いいえ］

2. [AXIES] 北海道大学の研究データ保存についての規程（国立大学法人北海道大学における研究活動上の不正行為に関する規程）で、「研究資料等の保存期間は論文等の発表後 10 年間」と定められていることを知っていますか？
［はい,いいえ］

3. [AXIES] 収集・作成した研究データをどのように保管していますか？(複数選択可)
イ）個人が使用するパソコンやディスクなどに保管
ロ）研究室などの研究組織が管理するサーバやストレージなどに保管
ハ）大学や部局が管理するストレージなどに保管
ニ）他機関や商用サービスによる学外クラウドに保管
ホ）その他　(具体的に)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

4. [AXIES] 収集・作成した研究データのバックアップを定期的にとっていますか？[はい,いいえ]

5. [AXIES] 過去 10 年以内に公表した論文（共著の論文を含みます）について、当該論文の根拠となるデータはすべて保管しており、研究公正上の問題が生じたときにも容易にアクセスできますか？［はい,いいえ］
(注）本質問は、大学においてのインフラ整備の必要性を把握するためにしているため、「いいえ」と回答してもペナルティはありません。

6. [AXIES] 研究データ管理のための環境が本学で整備された場合、その環境で保管したい研究データはありますか？［はい,いいえ］
   - 「はい」の場合
     - ✓ [AXIES] 保管したい研究データの規模はどの程度ですか？
       イ）100GB 未満
       ロ）100GB 以上～1TB 未満
       ハ）1TB 以上～1PB 未満
       ニ）1PB 以上
     - ✓ [AXIES] データのタイプをご記入ください。(複数選択可)
       イ）テキスト

ロ）数値データ
ハ）マルチメディア（画像、音声、動画）
ニ）データベース（DB システム含む）
ホ）ソースコード、解析ツール、実験手順や装置図面
ヘ）データタイプが複合的なファイル
ト）その他　（　　※複数記入可）

7. **[AXIES]これまでに収集・作成した研究データのうち、現在まで公開していないものの、大学が整備する環境があれば、公開可能な研究データはありますか？**［はい,いいえ］
   - 「はい」の場合
     - ✓ ［AXIES］公開可能な研究データの規模はどの程度ですか？
       イ）100GB 未満
       ロ）100GB 以上～1TB 未満
       ハ）1TB 以上～1PB 未満
       ニ）1PB 以上
     - ✓ ［AXIES］データのタイプをご記入ください（複数選択可）。
       イ）テキスト
       ロ）数値データ
       ハ）マルチメディア（画像、音声、動画）
       ニ）データベース（DB システム含む）
       ホ）ソースコード、解析ツール、実験手順や装置図面
       ヘ）データタイプが複合的なファイル
       ト）その他　（　　※複数記入可）
     - ✓ ［AXIES］ 差し支えなければ、公開可能なデータの内容を記述下さい。
       　　※複数記入可

8. **［北大図書館］これまでに収集・作成した研究データのうち、過去に公開していたが、現在は公開できなくなったものはありますか？**［はい,いいえ］
   - 「はい」の場合
     - ✓ **［北大図書館］**研究データの規模はどの程度ですか？
       イ）100GB 未満
       ロ）100GB 以上～1TB 未満
       ハ）1TB 以上～1PB 未満
       ニ）1PB 以上

✓ **[北大図書館]** データのタイプをご記入ください（複数選択可）。

イ）テキスト

ロ）数値データ

ハ）マルチメディア（画像、音声、動画）

ニ）データベース（DB システム含む）

ホ）ソースコード、解析ツール、実験手順や装置図面

ヘ）データタイプが複合的なファイル

ト）その他　（　　※複数記入可）

✓ **[北大図書館]** 差し支えなければ、データの内容を記述下さい。

　　※複数記入可

9. **[AXIES] これまでに収集・作成した研究データを既に公開または共有していますか？当てはまるものをすべて選んでください。**

イ）公開している。

ロ）分野のコミュニティで共有・公開している。

ハ）共同研究者と共有している。

ニ）公開を準備している。

ホ）公開したいが、個人での公開は困難

ヘ）公開していない。

ト）その他（具体的に）

10. **[AXIES]（個人や研究室等による管理ではなく、）大学組織が整備した環境で研究データを管理する場合、何に期待しますか。最も当てはまるものを１つ選んでください。**

イ）研究データのバックアップが定期的に実施される。

ロ）異動・退職後も大学で研究データが保管される。

ハ）研究者間で研究データを共有しやすくなる。

ニ）研究データのバージョン管理が容易になる。

ホ）その他（具体的に）

11. **[AXIES] ご自身が収集・生成した研究データを積極的に公開する場合、何に期待しますか？最も当てはまるものを１つ選んでください。**

イ）公開した研究データが他の論文から引用される。

ロ）研究データを公開することが大学や部局による個人評価につながる。

ハ）異なる用途で利用されることで、研究データに新たな価値が付け加わる。

ニ）同一の研究データを使用する研究コミュニティが大きくなる。

ホ）論文投稿のために研究データ公開が必要である。

ヘ）その他　（具体的に）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

12. ［北大情報基盤センター］北海道大学では、情報基盤センター「学際大規模計算機システム」のクラウドストレージサービス（＊）を研究資料（試料及び標本を除く）保存のために利用できることを知っていますか？

［はい,いいえ］

（＊）基本サービス経費の負担により、教職員は 100GB、学生は 10GB まで利用可能。追加の費用負担により 1TB 単位でストレージ容量の追加可能。

（サービス紹介ページ）

https://www.hucc.hokudai.ac.jp/intercloud/cloudstorage/

13. ［北大情報基盤センター］設問 12 のクラウドストレージサービスを利用してみたいですか？

イ）すぐに利用したい。

ロ）今後利用を検討したい。

ハ）利用する予定はない。

ニ）すでに利用している。

ホ）その他　（具体的に）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

14. ［北大図書館］［北大情報基盤センター］本学における研究データ管理についてご意見があればご記入ください。

（自由記述）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿